

国際砂防フォーラム2009 ー防災大国日本のモデル・立山砂防ー

1. 趣 旨

- ・ 白岩砂防えん堤の重要文化財指定にあわせ、富山が世界に広まった近代砂防技術発祥の地であることや、立山砂防の文化的価値を広く紹介する。
- ・ 世界の多くの国で日本の砂防技術が導入され防災対策に寄与しているなど、日本の砂防技術の国際的な広がりとその貢献について検証する。

2. 主 催 国際砂防フォーラム実行委員会

3. 日 時 10月16日(金) 13:30-16:40 (交流会は、17:30-19:30)

4. 内容

(1) フォーラム

場所：インテックビル 3階スカイホール

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 (タワー111)

TEL:(076)432-1414 FAX:(076)444-8701

時間：13時30分～16時40分

プログラム：

- 1) 開会挨拶 富山県知事
- 2) 来賓挨拶 国土交通省砂防部長
- 3) 特別講演 スチュアート・スミス氏 (英) 国際産業遺産保存委員会(TICCIH)事務局長
「世界文化遺産の基準と現状について」(仮題)

4) 講 演

〔大井 英臣氏 (独立行政法人国際協力機構 地球環境部アドバイザー) を
コメンテーターとして、砂防 (SABO) をテーマに講演いただきます。〕

- ・ ケダル・バクタ・マテマ氏 (ネパール) 元駐日大使
「ネパールと日本の砂防について」(仮題)
- ・ ジョコ・レゴノ氏 (インドネシア) ガジャマダ大学教授
「インドネシアと日本の砂防について」(仮題)
- ・ 近藤 浩一氏 財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事
「立山砂防の歴史的・文化的価値について」
- ・ 杉尾 伸太郎氏 イコモス文化的景観国際学術委員会副委員長
「文化的景観から見た立山砂防について」

(参考) スチュアート・スミス氏は、世界における産業遺産のオーソリティ。
国際産業遺産保存委員会は、イコモス (国際記念物遺跡評議会) の産業遺産の科学的
アドバイザーの立場にあり、産業遺産の世界遺産リスト登録にあたっての評価も行っ
ている。

5) その他

- ・ フォーラムの聴講は無料です。

(2) 交流会

フォーラム終了後、講演者を囲み交流会を開催いたします。

場所：オークスカナルパークホテル富山 4階 翠鳳の間

〒930-0858 富山市牛島新町 11-1

TEL:(076)432-2000 FAX:(076)432-2222

時間：17時30分～19時30分

会費：7,000円（当日会場にて、承ります。）

5. 参加申し込み

聴講等を希望される方は、別添参加申込書に必要事項を記入のうえ、平成 21 年 9 月 30 日（水）までにFAXにてご返送ください。

国際砂防フォーラム実行委員会（富山県土木部砂防課内）あて

【FAX】076-444-4420

※電話・Mailでの受付はしていません。

申込締切 平成21年9月30日（水）

参加申込書

（新規・追加・変更・取消）
いずれかを○で囲んでください

申込日	
申込者代表氏名	
住所	
電話番号	
FAX	

参加者氏名 ※申込代表者も含む	所属	性別	出欠	
			フォーラム	交流会
(例) 立山 太郎	立山県砂防課	男	○	○

※宿泊については、各自で手配をお願いします。

※会場周辺には駐車場が少ないので、なるべく公共交通機関を利用してご来場ください。

※参加申込書に記載された個人情報は、本企画以外での使用は一切いたしません。